

令和5年度上大久保中学校だより

上中だより

第9号

令和6年1月9日(火)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

2024年～地域に愛される学校を目指して～

校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

新年明けましておめでとうございます。保護者及び地域の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年は辰年ですが、辰年とは、架空の存在である龍を象徴する年です。龍は、多くの文化で強さ、知恵、幸運を象徴しており、このことから辰年は新しいことを始めたり、大きな変化を遂げたりするための良い時期とされています。本校においても、生徒全員がそれぞれの目標に向かって進むことで、龍が天に昇るように、より高い成果が発揮できる学校となれるよう教職員一同、引き続き努力してまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、2学期に実施いたしました学校評価には、保護者並びに地域の皆様にご協力いただきまして誠にありがとうございました。特に、地域アンケートについては、本年度新たに各自治会にご協力をいただきました。今回は、その中の学校・家庭・地域に関わる項目を紹介いたします。(肯定的な回答結果のみ掲載)

【学校生活に関する項目】

生徒アンケート「学校生活は楽しいですか」は94%、「生徒にとって魅力的な学校行事が実施されている」は96%/保護者アンケート「お子さんは、楽しく学校生活を送っている」は87%、「学校は、行事を通じて子ども達の個性や能力を高めるように努めている」は89%/地域アンケート「生徒たちは目標に向け生活している」は71%、「学校行事は、生徒たちの成長を促している」は83%でした。

【あいさつ等に関する項目】

生徒アンケート「すすんで『あいさつ』ができていますか」は93%/保護者アンケート「学校は、『あいさつ』や礼儀など基本的な生活習慣の確立を目指した取組を行っている」は91%/地域アンケート「上大久保中の生徒たちは、進んであいさつをしている」は49%でした。

【開かれた学校づくりに関する項目】

教職員アンケート「開かれた学校づくり、家庭・地域社会との連携」は79%/保護者アンケート「学校は、学校便りや学年便り、学校公開日等で学校の様子を伝え、開かれた学校づくりをすすめている」は92%/地域アンケート「PTA、地区青少年育成会、自治会等の地域団体と連携して子どもの教育にあたっている」は80%、「生徒たちや教職員は、積極的に地域行事へ参加している」は63%、「学校だより等で、取組や課題などの教育活動をわかりやすく伝えている」は74%でした。

以上の結果を見ると、「学校生活に関する項目」は比較的高い評価を受けておりますが、「あいさつ等に関する項目」並びに「開かれた学校づくりに関する項目」については学校（生徒または教職員）・保護者と地域との間の認識に差が見られました。昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染防止上の位置付けが5類への移行されたものの、それまでの様々な制限による影響がまだ大きいのではないかと感じています。

そこで、12月18日(月)に開催した「第2回学校運営協議会」では、「生徒を地域で活躍させるには」をテーマに熟議を行いました。委員の皆様からは、「あいさつ→コミュニケーション力の身に付ける必要性や大人からの声掛け」「地域の行事への参加について→人のために役に立ったという達成感のある体験をさせるべき、地域の行事について生徒に直接プレゼン場を設ける、QRコードを掲載するなどのチラシの工夫」「交通ルールやマナーについて→相手の立場の目線で考える力や心の面の成長の必要性」「それぞれの悩みについて→悩みを話せる大人の必要性」「生徒が主体的に考えて行動することについて→大人が子どものルールを敷きすぎず、自分で考えて行動する力を身に付ける必要性」等、活発な意見が出されました。これらの意見を基に、具体策を検討し、昨年以上に生徒が地域で活躍できる場を増やしてまいりたいと思います。今後も地域に愛される学校づくりを目指してまいりますので、保護者並びに地域の皆様には温かい目で本校生徒を見守っていただくと同時に様々なお声をお聞かせ願えれば幸いです。

今月は、1年生東京校外学習、2年生南郷自然の教室が行われ、3年生は私立高校を皮切りに本格的に入試が始まります。これまで準備してきたことがしっかりと発揮できるよう生徒全員の全力を期待してやみません。



第2回学校運営協議会より
(R5.12.18実施)

